

河辺 泰宏 *Yoshihiro Kawabe* 建築のお話



名古屋大学工学部建築学科卒業、ローマ大学建築学部留学（イタリア政府給費留学生）、フィレンツェ大学建築学部留学（国際ロータリー財団奨学生）、名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程満期退学。大学で西洋建築史を教えるかたわらグリーン・エコ、名古屋フィルハーモニー「第九」演奏会等で合唱を指導。ヤナーチェク「グラゴル・ミサ」、パカロフ「ミサ・タンゴ」、シュニトケ「長崎」などの名古屋初演に携わってきた。著書・訳書にペドレッティ『建築家レオナルド』、ノーヴァ『建築家ミケランジェロ』、フレッチャー『世界建築の歴史』、『ローマ「永遠の都」都市と建築の2000年』、スミス『建築シンボリズム』、オナイアンズ『建築オーダーの意味』等がある。愛知淑徳大学教授、創造表現学部長。愛知県合唱連盟理事長。

木村 恵理 *Eri Kimura* チェンバロ



第16回大阪国際音楽コンクール、アーリーミュージック部門（チェンバロ）第1位。2016、2017、2021年にリサイタル。2019年J.S.バッハ：チェンバロ協奏曲のソリストとしてセントラル愛知交響楽団と共演。2022年「4台チェンバロと歌、ピリオド楽器オーケストラの饗宴」にて協奏曲のソリスト及びプリンシパルとして日本初演作品に携わる。またグレゴリオ聖歌やルネサンス音楽への理解を深めるべく、計量記譜法による写本（いわゆる当時の楽譜）でポリフォニーを歌い学ぶスコラ・ポリフォニカ名古屋に参加中。作曲においても東京国際芸術協会「全日本作曲家コンクール」歌曲部門および重唱・合唱部門に入選、合唱団グリーン・エコ委嘱作曲作品ほか。合唱やバレエスタジオのピアニストとしても活動。名古屋音楽大学授業補助員。



La voce del Seicento 〈17世紀の声〉 竹内茂夫&長井和泉

毎年晩秋に神戸聖愛教会にて公演を行う「16～17世紀の宗教合唱曲を歌う会」のメンバーの中からモンテヴェルディ、カッチーニなどの17世紀の歌曲を演奏するべく、2019年に結成されたアンサンブル。名古屋バロック音楽協会例会、日本リュート協会例会会員コンサート（東京）、「感謝の響き」（神戸）のシリーズに出演、毎年スタジオ・ヴィヴァーチェ（名古屋）などでリサイタルを行う。

長井 和泉 *Izumi Nagai* ソプラノ

2018年より、アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ主宰の古楽演奏家、テオルゴ奏者及び声楽家の笠原雅仁氏に、初期バロックの楽曲、主にカッチーニなどのモノディー歌曲について学んでいる。フォンス・フロリス古楽院にて、ルネサンス期のポリフォニー音楽、グレゴリオ聖歌について学び、音楽へのより深い理解と実践を目指している。声楽及び古楽を、花井哲郎、笠原雅仁、緋田芳江、阿部雅子の各氏に師事。

竹内 茂夫 *Shigeo Takeuchi* キタローネ、リコーダー

リコーダーを太田光子氏他多数、キタローネと通奏低音を佐野健二、笠原雅仁氏他多数、16～17世紀の音楽を笠原雅仁・上野訓子両氏に師事。17世紀器楽曲のアンサンブル・パッサメッツォ・アンティーコ、フランスの宗教曲を歌うミュージック・ドゥスのメンバーとして活躍。独奏者としても「音楽の日」（東京）、名古屋バロック音楽協会例会など各地で演奏。17世紀の演奏習慣に関する英書読書会を主宰し、「初期バロック（17世紀）音楽入門」を『名古屋バロック音楽協会会報 コンティヌオ』に連載中。京都産業大学文化学部教授。

ご来場のみなさまへお願い

- ・受付での検温、マスク着用にご協力ください。
- ・出演者との面会はできませんのでご了承ください。
- ・出演者への花束、贈物、差入はご遠慮ください。
- ・メニコンは禁煙運動を推進しています。
- ・ホールおよび周辺地域での禁煙にご協力ください。

残席情報はこちらから
随時お知らせします。
Twitter「#建築と音楽2」で検索



会場： **HITOMI ホール**
名古屋市中区葵 3-21-19
メニコン ANNEX5 階

★アクセス
・JR「千種駅」JR改札より徒歩5分
・地下鉄東山線「千種駅」1番出口より徒歩5分
※5番出口は来年3月まで工事のため閉鎖中です。ご注意ください。